

浜銀総研 News Release



2010年 9 月 16 日

5 期連続での改善となった神奈川県内中堅・中小企業の景況感

—— 企業経営予測調査2010年 9 月調査結果 ——

要 旨

【景況感】

神奈川県内中堅・中小企業の2010年 9 月末時点における業況判断D.I.（全産業ベース、業況が「良い」－「悪い」、回答社数構成比、%）は▲28と前回調査に比べて7ポイント上昇した。D.I. 値の上昇は5 四半期続いており、リーマンショック前である2008年 9 月調査の水準(▲29)にまで持ち直した。

今回の業況判断D.I. 値を製造業、非製造業の別にみると、製造業が前回調査比9ポイント上昇して▲21となり、非製造業も同6ポイント上昇の▲32となった。製造業ではほとんどの業種でD.I. 値が上昇し、なかでも鉄鋼・非鉄が前回調査比39ポイント上昇の+6と2008年 9 月以来の「良い」超となった。また、食料品や電気機械、一般機械などでもD.I. 値が大きく上昇した。一方の非製造業では、飲食店・宿泊や卸売で「悪い」超幅が大きく縮小した。反面で、不動産とサービス、小売では前回調査に比べて景況感が悪化した。

3 か月先（12月末）の見通しについては、製造業、非製造業ともに悪化を予想していることから、全体でも▲36と9月末比8ポイント低下する見通しである。

最近の県内景気は、輸出や生産が弱含むとともに、先行きの不透明感が広がっている。今回の調査結果では、これまでの景況感持ち直しの動きが足下までは続いていることが確認されたものの、年末に向けては悪化が見込まれている。

【来春の新卒採用計画】

2011年春の新卒採用計画について尋ねたところ、採用予定がないとする企業の割合が57%となった。反面で、採用予定があるとする企業は43%にとどまったものの、4年ぶりに上向いた。また、採用数の「増加」を予定する企業の割合が前年の10%から15%へと上昇した一方で、「減少」を予定する企業も8%から13%へと上昇した。採用増の理由としては「退職者の補充」と「従業者年齢の若返り」をあげる企業が最も多く、採用減の理由では「生産・売上の低迷」をあげる企業が最も多くなった。なお、採用予定数を「確保できない」と見込む企業は8%と、急低下した前年(31%→10%)よりさらに低下した。

【本件についてのお問い合わせ先】

㈱浜銀総合研究所 調査部 新瀧健一
TEL. 045-225-2375 (ダイヤルイン)

企業経営予測調査

2010年9月実施

四半期別（第157回）結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした1,327社
（うち製造業436社、非製造業891社）

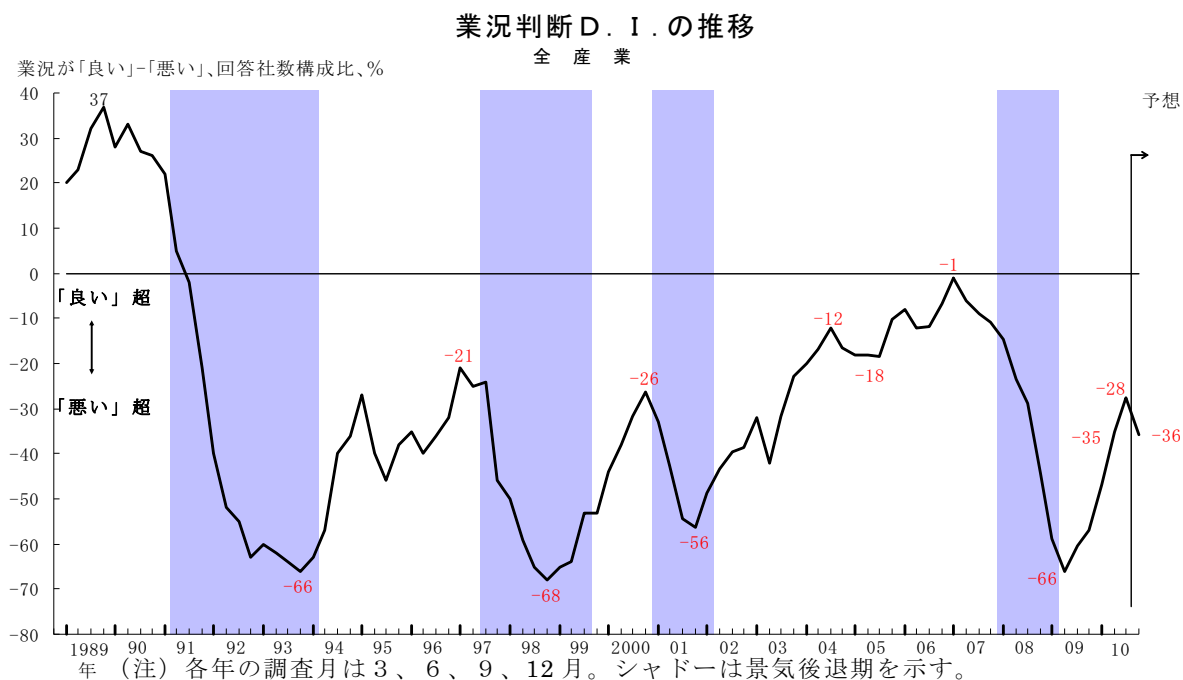
回収率46.3%（回答企業615社、うち製造業244社、非製造業371社）

業況判断D.I.

（2010年9月末）

神奈川県内中堅・中小企業の2010年9月末時点における業況判断D.I.（全産業ベース、業況が「良い」－「悪い」、回答社数構成比、%）は▲28と前回調査に比べて7ポイント上昇した。D.I.値の上昇は5四半期続いており、リーマンショック前である2008年9月調査の水準(▲29)にまで持ち直した。

今回の業況判断D.I.値を製造業、非製造業の別にみると、製造業が前回調査比9ポイント上昇して▲21となり、非製造業も同6ポイント上昇の▲32となった。製造業ではほとんどの業種でD.I.値が上昇した。なかでも、売り上げの増加が続く鉄鋼・非鉄が前回調査比39ポイント上昇の＋6と2008年9月以来の「良い」超となった。また、食料品や電気機械、一般機械などでも売り上げの持ち直しなどからD.I.値が大きく上昇した。一方の非製造業では、ホテルなどで上向きの動きがみられた飲食店・宿泊や卸売で「悪い」超幅が大きく縮小した。反面で、不動産とサービス、小売では前回調査に比べて景況感が悪化した。



（３か月先の見通し）

2010年12月末時点の業況判断D.I.は、全産業ベースで▲36と9月末の実績に比べて8ポイントの悪化が見込まれている。

製造業では、電子部品・デバイスや化学・石油、食料品、電気機械など多くの業種でD.I.値の低下を見込んでいることから、全体では▲30と9月末比9ポイント「悪い」超幅が拡大する見通しとなっている。なお、輸送機械と金属製品の2業種では横ばいの見通しとなっている。

一方、非製造業でも飲食店・宿泊で横ばいが予想されているものの、他のすべての業種で「悪い」超幅の拡大が見込まれていることから、全体でも▲40と9月末比8ポイント低下する見通しである。業種別には、運輸・倉庫や卸売で悪化幅が大きくなっている。

最近の県内景気は、輸出や生産が弱含むとともに、先行きの不透明感が広がっている。今回の調査結果では、これまでの景況感持ち直しの動きが足下までは続いていることが確認されたものの、年末に向けては悪化が見込まれている。

足下の業況判断D.I.と3か月先の見通し

（業況判断D.I.：業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、％）

	2010年 3月末	2010年 6月末	2010年 9月末	2010年 12月末 (予想)
全 産 業	▲ 47	▲ 35	▲ 28 (▲ 29)	▲ 36
製 造 業	▲ 51	▲ 30	▲ 21 (▲ 21)	▲ 30
一般機械	▲ 58	▲ 40	▲ 26 (▲ 31)	▲ 35
電気機械	▲ 59	▲ 36	▲ 19 (▲ 13)	▲ 33
電子部品・デバイス	▲ 33	▲ 11	▲ 11 (0)	▲ 33
輸送機械	▲ 52	▲ 23	▲ 15 (▲ 23)	▲ 15
食料品	▲ 50	▲ 25	▲ 6 (▲ 25)	▲ 25
化学・石油	▲ 50	▲ 32	▲ 23 (▲ 36)	▲ 45
鉄鋼・非鉄	▲ 44	▲ 33	6 (0)	0
金属製品	▲ 64	▲ 34	▲ 24 (▲ 24)	▲ 24
非製造業	▲ 44	▲ 38	▲ 32 (▲ 35)	▲ 40
建設	▲ 33	▲ 46	▲ 38 (▲ 44)	▲ 46
不動産	▲ 8	4	0 (0)	▲ 5
運輸・倉庫	▲ 50	▲ 15	▲ 10 (▲ 30)	▲ 33
卸売	▲ 60	▲ 52	▲ 31 (▲ 39)	▲ 41
小売	▲ 56	▲ 38	▲ 39 (▲ 32)	▲ 47
飲食店・宿泊	▲ 74	▲ 68	▲ 50 (▲ 47)	▲ 50
サービス	▲ 36	▲ 34	▲ 38 (▲ 31)	▲ 39

（注）カッコ内は前回2010年6月調査時点における9月末予想である。

(トピック)

来春の新卒採用計画について

2011年春の新卒採用計画について尋ねたところ(回答企業603社)、採用予定がないとする企業の割合が57%にのぼった反面で、採用予定がある企業は43%にとどまった。過去の数字と比べると新卒採用を計画する企業の割合は、今回4年ぶりに上昇に転じたものの、水準としては依然として低めである。

採用予定のある企業の内訳をみると、「増加」する予定の企業が前年の10%から15%へ上昇した一方で、「減少」とする企業についても8%から13%へと上昇した。採用者数の増加を予定する理由としては「退職者の補充」と「従業者年齢構成の若返り」をあげる企業がともに62%で最も多くなった。反面で、採用数減少の理由では「生産・売上の低迷」をあげる企業が最も多く63%にのぼった。

来春採用予定者数の確保の見込みについては、「ほぼ確保できる」とする企業の割合が56%と最も高くなった。次いで「確保できる」が36%、「確保できない」は8%となった。前回(2009年9月)調査と比べると、「確保できない」と見込む企業の割合が10%から8%へと低下した反面で、「確保できる」とする企業は35%から36%へとわずかに上昇した。

県内における新卒採用市場は最悪期を脱しつつあるものの、企業の雇用に対するスタンスが依然として慎重であることを反映して、持ち直しの動きは弱めにとどまっている。

来春卒業予定者の採用計画

(回答社数構成比、%)

今回調査(2010年9月調査)						
	採用予定あり				採用予定なし	回答企業数
		増加	横ばい	減少		
全産業	43	15	14	13	57	603
製造業	47	19	15	13	53	240
非製造業	40	13	13	14	60	363

前回調査(2009年9月調査)

全産業	34	10	15	8	66	647
製造業	34	11	14	10	66	254
非製造業	34	10	16	7	66	393

採用予定のある企業の割合の推移

(構成比、%)

1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
60	51	48	45	45	49	52	57	67	52	50	34	43

(注)各年9月時点での翌年新卒採用を予定する企業の割合。

来春採用増加予定企業の採用を増やす理由（複数回答）

（回答社数構成比、％）

	退職者の 補充	増産・拡販	研究開発 の拡充	新分野への 進出	従業者年齢 構成の若返り	時短推進	回答社数 (社)
全産業	62	44	8	5	62	10	87
製造業	72	40	16	5	58	7	43
非製造業	52	48	0	5	66	14	44

来春採用減少予定企業の採用を減らす理由（複数回答）

（回答社数構成比、％）

	退職(予定) 者の減少	生産・売上 の低迷	機械化・ 合理化の 進捗	研究開発の 絞込み	雇用人員 削減	時短促進	回答社数 (社)
全産業	40	63	14	2	37	5	63
製造業	44	56	15	0	30	7	27
非製造業	36	69	14	3	42	3	36

来春採用予定者数の確保の見込み

（回答社数構成比、％）

	確保できる	ほぼ確保できる	確保できない	回答社数 (社)
全産業	36	56	8	212
製造業	32	60	8	93
非製造業	39	53	8	119

前回（2009年9月）調査

全産業	35	55	10	207
製造業	35	55	9	85
非製造業	35	55	10	122

（参考：2008年9月調査）

全産業	14	55	31	318
製造業	10	55	35	149
非製造業	17	56	28	169

以上

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。